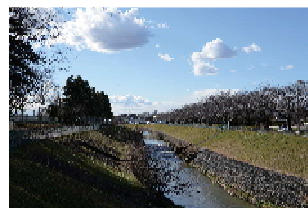


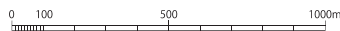
片山富士



法臺寺
大平山法臺寺は、鎌倉時代に創建された時宗の古刹。室町時代まで、時宗の道場として、その名を知られました。境内には板石塔婆など中世の資料が見られます。

黒目川
小平霊園のさいから窪に水源をもつ全長約15km。流域面積約31km²の一般河川。片山はこの沖積低地から生まれ、旧石器時代から人々の生活の場となりました。

嵯峨山遺跡(埴玉県選定重要遺跡)
堀ノ内一・二・三丁目の黒目川左岸の野火止台地縁辺部に位置する縄文時代中期の大規模集落跡。発掘調査により、旧石器時代の石器類、縄文時代早期の住居跡や屋外炉・前期から後期の住居跡・落とし穴などが発見され、同時代の土器・石器類も多数出土しています。また、平安時代初期の須恵器、中世の陶磁器等が採取されています。



埴玉県選定重要遺跡(埴玉県選定重要遺跡)
本遺跡は、旧石器時代の代表的な遺跡です。昭和58年(一九八三)の調査では、約3万年前から1万5千年前までの数多くの石器類と、当時の人々が調理に使用していた焼けた石などが、現在の市営墓園内のいたるところから発見されました。



蓮光寺
医王山蓮光寺は南北朝時代の明徳3年(一三九二)法印重元によって開山された真言宗の古刹。古くは馬場の水川神社の別当も兼ねていました。



片山水川神社
馬場にある片山水川神社は片山郷の総鎮守。社殿の左脇に安置してある大杉の切株は樹齢700年の「御神木」の名残で歴史と信仰の重みを感じさせてくれます。



武野神社
以前は北向きの八幡社といわれ、源義家が奥州征伐の時に立ち寄ったと伝えられています。明治の末に栗原の浅間社・石神の水川神社を合祀し武野神社となりました。



東福寺
真言宗の古刹である十王山東福寺の本尊は薬師如来。本堂には山号とかかわりのある闇魔王などの十王像が安置されています。



妙音沢の伝説
その昔、天から降りてきた弁財天が、村人に琵琶の秘曲を授けた妙音沢の伝説。弁財天の奏でる妙なる調べは片山の里に響きわたったそうです。



荒沢不動尊
荒沢不動尊は東福寺の奥の院の跡。本尊の不動明王は雨さらしのまですが、これは修行中の身であるからといわれています。



満行寺
「野寺の鐘」で有名な満行寺は真言宗の古刹。文明18年(一四八六)京都聖護院門跡の准后道興は関東下向の折、この地に立ち寄り、歌を詠みました。

